

祝！北海道新幹線『札幌 延伸』遂に着工へ！！

特集Ⅲ

北海道新幹線をめぐる経過

1964(S 39)年10月	東海道新幹線（東京～新大阪間）開業
1969(S 44)年5月	新全国総合開発計画策定。新幹線を「札幌から福岡までを結ぶ国土の主軸に」と位置づける。
12月	北海道新幹線建設促進期成会設立
1970(S 45)年5月	全国新幹線鉄道整備法施行
1973(S 48)年11月	整備計画（青森～札幌間）決定
1975(S 50)年3月	山陽新幹線（新大阪～博多間）が全線開通
1982(S 57)年6月	東北新幹線（大宮～盛岡間）が開業
9月	整備新幹線計画を当面凍結する閣議決定
11月	上越新幹線（大宮～新潟間）が開業
1987(S 62)年1月	整備新幹線計画の凍結を解除する閣議決定
4月	国鉄民営化でJ R各社が発足
1994(H 6)年11月	札幌までのルートは小樽経由の「北回り」で地元調整終了
1995(H 7)年1月	北海道新幹線のルート調査開始
1997(H 9)年10月	北陸新幹線（高崎～長野間）が開業
1998(H 10)年2月	北海道新幹線の駅・ルートを公表（新幹線長万部駅決定！）
2004(H 16)年3月	九州新幹線（新八代～鹿児島中央間）が開業
12月	政府・与党が北海道新幹線（新青森～新函館間）の着工決定
2005(H 17)年5月	2015年度の開業を目指し、北海道新幹線（新青森～新函館間）が着工
2008(H 20)年12月	政府・与党（自民党）が長万部～札幌間の2009年度着工を決定
2009(H 21)年8月	第45回衆議院議員総選挙で民主党が第1 党に
9月	第172回特別国会において民主党鳩山内閣誕生、歴史的な政権交代実現
2009(H 21)年10月	前原国交相が「未着工3 区間は白紙」と発言
2010(H 22)年5月	J R北海道の中島尚俊社長が札幌延伸時の並行在来線（函館～小樽間）の経営分離方針を表明
12月	東北新幹線（東京～新青森間）が全線開通。鉄道・運輸機構の利益剰余金の国庫返納が決定。
2011(H 23)年3月	東日本大震災
2011(H 23)年6月	九州新幹線鹿児島ルート（博多～鹿児島中央）が全線開通
12月21日	衆議院国土交通委員会（5/27）と参議院国土交通委員会（6/7）で「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」が採択
12月24日	並行在来線（函館～小樽間）の経営分離問題で、函館市が（函館～新函館間）の分離に同意、沿線全15市町の足並みそろそろ。
12月26日	同日、与党（民主党・国民新党）による政府への申し入れ
2012(H 24)年1月	整備新幹線問題調整会議（国交・財務・総務3 省の政務官で構成）開催。財源確保可能で一致。
2012(H 24)年4月4日	整備新幹線問題検討会議（国交省政務3 役で構成）を開催し、政府として年度内にも着工認可する方針を表明。
4月27日	整備新幹線小委員会を設置、収支採算性や投資効果の確認作業を開始
5月14日	整備新幹線問題検討会議で未着工3 区間の収支採算性と投資効果を確認、認可・着工の方向を確認。J Rの同意、並行在来線の経営分離に関する沿線自治体の同意手続きに入る旨の前田国交大臣から発表
5月16日	営業主体としてのJ R北海道の同意回答提出
5月23日	並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意照会文書を北海道経由で長万部町が受ける。
5月30日	上記同意回答文書を北海道へ提出
6月12日	沿線自治体の同意回答文書を北海道が一括国交省へ提出
6月26日	工事実施計画協議のJ R回答書が機構へ提出
6月末	工事実施計画が鉄道・運輸機構から国交省へ提出
	工事実施計画への北海道の意見聴取回答の国交省への提出

※青表示＝北海道関連、赤表示＝長万部町関連



これがあの「はやぶさ」か！
はやく長万部から乗りたいな～！
さあ、これからは新幹線のまちづくり
いろいろ考えようっと♪
みんなといっしょにがんばるね！

新青森駅を視察中のまんぺくん

★新幹線が着工後に何をやるのかな？★（以下は、想定される初期段階の進め方です）

1. **地元説明会の開催** ～最初に、地区ごとに事業の説明会を開いて、測量等の立ち入りについてのご協力をお願いします。また、北海道新幹線はトンネルが70%以上を占めるため、トンネル掘削により発生する大量の土砂等の捨て土先を事前に選定しなければなりません。
2. **中心線測量** ～新幹線ルートを中心杭打ち、縦横断測量や工事に必要な地質調査も行います。
3. **設計協議** ～構造物の概略設計を行うとともに、必要な用地幅の検討を行います。これを基に、鉄道と交差する川や道路の占用等について、町などと協議します。
4. **構造物設計** ～設計協議終了後、構造物の設計を行います。
5. **用地幅杭建植** ～事業に必要な土地の範囲を明らかにするため、用地の幅を示す杭を建植した上で、用地測量を行います。

※本格的な工事はトンネル工事などの構造物を主体に始まりますが、来年度以降から徐々に着工されると想定されます。

すぐに工事じゃないんだね。
はやくできないのかな？
新幹線はやく見たいよ～！



念願の『札幌延伸』遂に認可着工へ！
北海道新幹線長万部駅の早期開業へGO!!

